

に安心感を与えるとともに、保育士の負担軽減にもつながっている。ので、一層推進していただきたい。

A 現在、きたこども園を除くすべての園に看護師を配置し、病児保育(体調不良児対応)に取り組んでいます。登園時における健康チェックの対応など、専門的な視点での確かな判断ができることから、メリットは大きいものと考えます。

(地産地消の推進)

Q 地産地消推進事業の中で支出された地産地消システム更新事業補助金の内容は。

A 金山朝取横丁、さんませ工房、南飛騨小坂はなももの3力所の地元農産物直売所が行ったボスシステム(日々の売上げを商品種類ごとに集計分析して経営に活かすためのシステム)、産直システム(販売情報管理・会計処理)等の更新に要した費用に係る補助金です。

(消防車両の運転免許取得支援)

Q 消防車両には普通免許で運転ができないものもあり、非常時の緊急出動に支障がないよう市として必要な免許取得に対してしっかりと支援をすべきと考える。

A 消防団配備ポンプ自動車の運転には、準中型免許が必要となるため、今年度より免許取得費に対する助成を行っています。また、

消防本部配備車両の中には大型免許が必要なものがあり、消防職員の大規模免許取得への支援に関しては、来年度の制度化に向け検討を進めます。

(学校給食センターの運営)

Q 新たなスタートを切った北部学校給食センターについて、給食の配送エリアが広範囲となり、以前より配送に時間を要していると思うが、運営上の問題点等は生じていないか。

A 実際、配送時間が長くなり、運行計画も時間に余裕のないものとなっておりますが、各学校と取り決めた到着時刻は守れています。また、食缶についても保冷保温可能なものに更新するなどして、今のところ学校側からの苦情等はありません。

(介護保険特別会計)

(小坂老人保健施設の運営)

Q 老人保健施設で介護サービスを提供する人材は適切に確保されているのか、職員体制に係る課題はないか。

A 現在勤務する介護福祉士、ケアマネージャー共に50代の後半で、今後5年位は確実に不足してくるものと考えます。このため、以前から募集を行い人材確保に努めています。

令和元年度下呂温泉合掌村事業会計決算を全会一致で不認定

下呂温泉合掌村では、今年5月に多額の使途不明金が発覚しました。そのため、本定例会提出の決算は、現金の着服と不正な支出を反映したものになっておらず、22カ所が実態と異なる金額が計上されているとの説明を市執行部から受けました。

議員からは、「決算額が正確でないと分かっている状況下で認定はあり得ない。」との意見があり、本定例会最終日の本会議において、令和元年度下呂温泉合掌村事業会計決算を全会一致で認定しないことに決定しました。

なお、現金着服・不正支出を反映した本来の決算額の早期確定と、全庁的な再発防止に係る是正処置の報告を市執行部に求めました。

【決算の認定・審査とは?】

決算は、予算を執行した結果として、収入・支出の状況等を示すもので、議会の認定を受けて確定します。議会は、予算が適正に執行されたのか、目的としていた行政効果が得られたのかなどを審査し、認定するかどうか判断します。

【決算が不認定になると?】

地方自治法により、市長は、決算の不認定を踏まえ必要な措置を講じたときは、速やかな議会報告と公表が義務付けられています。

新たな特別委員会を設置

本定例会最終日に、下呂温泉合掌村における使途不明金事件の全容解明等に向けた調査を行うための新たな特別委員会を設置する決議が議員提出議案として上程され、全会一致で可決されました。

下呂温泉合掌村使途不明金調査特別委員会

定数 7人	
委員長	鷲見 昌己
副委員長	森 哲士
委員	田口 琢弥
	中島 ゆき子
	田中 副武
	一木 良一
	中島 新吾

活動方針

市民の皆さま、執行部、議会の共通の思い「二度とこのような問題を起こさない」に向け、特別監査および内部調査の結果報告の検証、必要に応じた調査を行い、全容解明に取り組んでいくとともに、再発防止対策等に係る議会としての提言につなげていきます。